

# 平成19年度 東京都医療費分析報告書の概要

[問い合わせ先]  
東京都 福祉保健局 生活福祉部 国民健康保険課  
医療費適正化担当 03-5320-4403(直通)

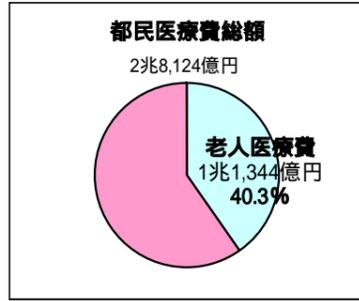
## 1 都民医療費の推移

### 都民医療費総額は2兆8千億円

平成17年度の都民医療費総額は2兆8,124億円(注)で、うち老人医療費は1兆1,344億円であり、老人医療費が医療費総額の約4割を占める。

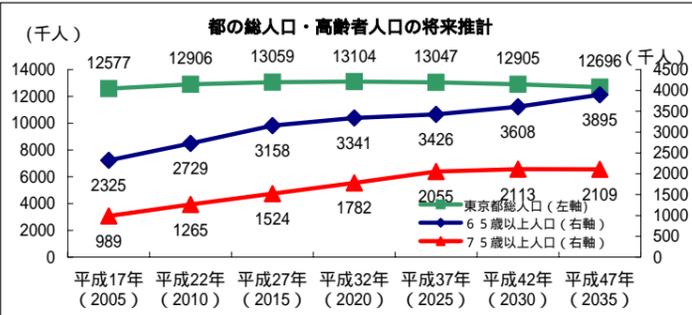
注 公費負担医療給付分(生活保護法に基づく医療扶助等)を除いた額

(出典) 『都道府県別の医療費の将来見通しの計算ツール』(厚生労働省)



今後20年間で75歳以上人口が2倍に  
東京都の総人口及び高齢者人口の推移を見ると、総人口はほぼ横ばいで推移するが、平成17年から平成37年までの20年間で、75歳以上人口が2倍超になることが予想される。

(出典) 『平成17年国勢調査』(総務省)、  
『都道府県別の将来推計人口(平成19年推計)』  
(国立社会保障・人口問題研究所)



## 2 他道府県との比較による東京都の特徴

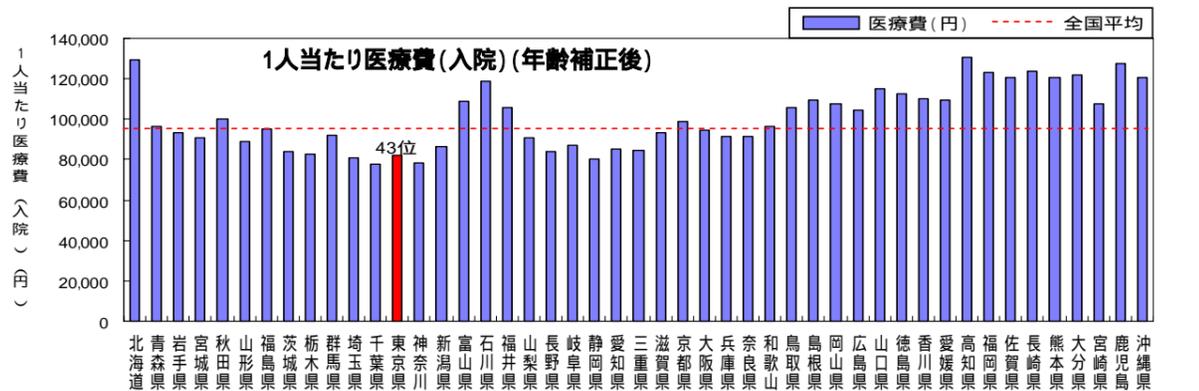
### 都民医療費総額は全国で最多だが、医療費総額に占める老人医療費の割合は低い

東京都の医療費総額は人口規模に応じて全国で最も高いが、高齢化率が19.1%(全国41位)と低いため、医療費総額に占める老人医療費の割合は低い(40.3% 全国43位)。

### 入院の1人当たり医療費が低い

- 入院の1人当たり医療費(年齢補正後)を見ると、全国43位と低位の水準にある。
- 1人当たり老人医療費でも、入院は全国34位と低位にある。

- 人口10万人当たりの一般病院数...全国38位
- 人口10万人当たりの一般病床数...全国38位
- 一般病床の平均在院日数...全国45位



(出典) 『都道府県別の医療費の将来見通しの計算ツール』(厚生労働省)

### 入院外の1人当たり医療費が高い

- 入院外の1人当たり医療費(年齢補正後)...全国13位
- 入院外の1人当たり老人医療費...全国5位
- 人口10万人当たりの一般診療所数...全国3位

## 3 保険者種別ごとの医療費の動向の把握

### 都民の医療費の分析は、国民健康保険医療費の状況を年齢階層別等で把握することで可能

東京都における保険者種別加入者数(平成17年度)

- 国民健康保険 43.3%
  - 被用者保険(\*) 55.2%
  - 生活保護適用者 1.5%
- (\*)被用者保険...健保組合・共済組合など

年齢階層別の疾病構造  
各保険者での疾病の出現状況  
「おおむね同様の傾向」と判明

都民医療費の分析は  
国民健康保険の医療費データを使用して実施

## 4 国民健康保険医療費等の状況から見た東京都の特徴

### 二次保健医療圏の傾向

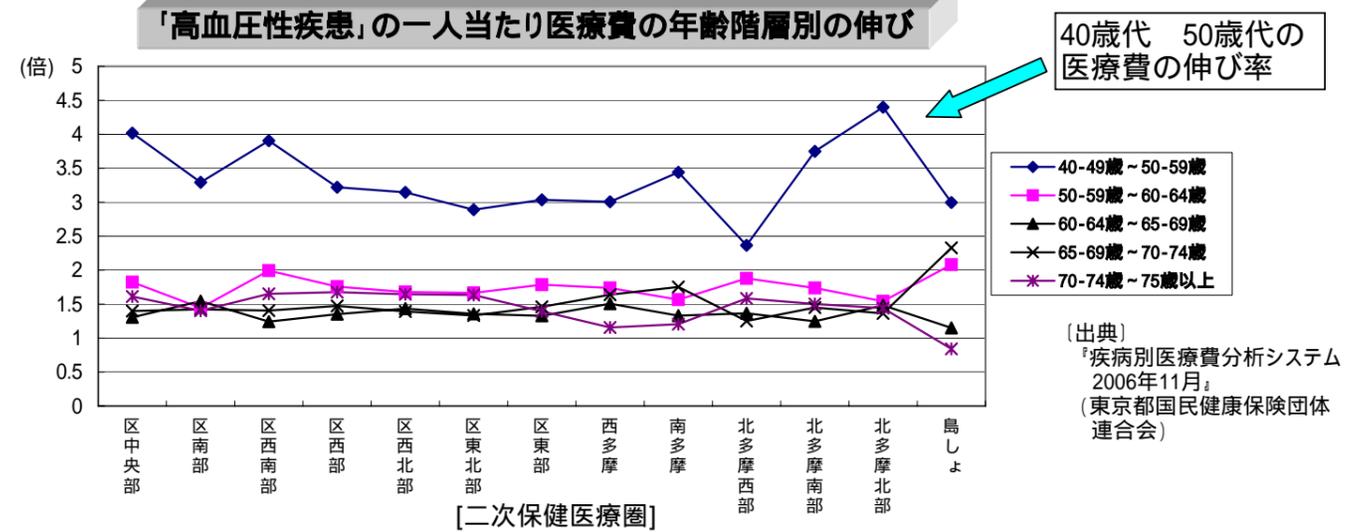
- 医療費の傾向  
「1人当たり医療費」「受診率」など  
医療費の構成要素を比較  
二次保健医療圏別での地域差は小さい
- 疾病の傾向(各保健医療圏共通)  
生活習慣病の占める割合が大きい

### 40歳以上の医療費の上位5大疾病

- 「循環器系の疾患」...「高血圧性疾患」「脳梗塞」など
- 「新生物」...「胃の悪性新生物」など
- 「腎泌尿生殖器系の疾患」...「腎不全」など
- 「筋骨格系及び結合組織の疾患」...「脊椎障害」など
- 「内分泌、栄養及び代謝疾患」...「糖尿病」など

### 疾病中分類別に見た特徴

年齢階層別に見て「高血圧性疾患」や「脳梗塞」、あるいは「胃の悪性新生物」等の一人当たり医療費は、40歳代から50歳代にかけての伸びが大きい。  
40歳代から50歳代にかけての伸びが、他の年齢階層間の伸びと比較して大きい。(受診率も同様の傾向)



### 医療費適正化に当たっては、生活習慣病や新生物に対する40歳代からの一次予防、二次予防的な取組が重要

東京都民に対する地域における健康課題の抽出や医療費の適正化を推進していく上では、生活習慣病や新生物に対する取組が不可欠  
特に、40歳代からの一次予防、二次予防的な取組が重要